

厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）
分担研究報告書科学的根拠に基づいたがん免疫療法の評価とPublicity研究代表者 河野 浩二 福島県立医科大学消化管外科学講座 主任教授
研究協力者 柴田 昌彦 福島県立医科大学先端癌免疫治療研究講座 教授**研究要旨**

現在有効と判断されているがん免疫療法、保険で治療が認められている治療について、より多くの方に免疫療法を正しく知って頂くため、2019年10月13日9:00～12:00コラッセふくしまにて市民公開講座『「がん免疫療法のいま」を知る』を開催した。3名の講師よりがん免疫療法について、一般市民の方にも分かりやすく講演を実施した。

A．研究目的

現在のがん治療の体系において、免疫チェックポイント阻害薬の登場は著しく重要であることは論を待たない。がん免疫療法に関してはテレビ、雑誌、インターネットなどを通じてその報道はあまりにも広範囲にわたっており、医療者でもその全体的な理解は困難である。また効果を証明する臨床試験が適切に行われていない治療の宣伝なども多く治療の選択には十分な情報が的確に与えられているとはいえない。今回の講演で現在有効と判断されているがん免疫療法、保険で治療が認められている治療について再確認していただき、それぞれの治療の正しい理解に繋がるよう実施した。

B．研究方法

2019年10月13日午前9:30～12:00コラッセふくしま多目的ホールにて実施した。『「がん免疫療法のいま」を知る』というテーマで、第1部福島県立医科大学先端癌免疫治療研究講座・柴田昌彦、第2部福島県立医科大学消化管外科学講座・三村耕作准教授、第3部福島県立医科大学呼吸器外科学講座・武藤哲史講師の3名に講演していただいた。各講演後には質疑応答を実施した。

C．研究結果

第一部では柴田より「免疫ってなに？」というテーマで、近年進歩が著しい癌免疫療法の基礎となる生体の免疫システムとその歴史、免疫療法の進歩などについて説明した。第2部では三村耕作氏が「手の届くようになったがん免疫療法 がん免疫療法の現状」のテーマで講演を行った。この中で特に本邦で治療の需要の多い消化器癌の免疫療法をその歴史から免疫チェックポイント阻害薬の治療までわかりやすく解説していただいた。第3部では武藤哲史氏より「期待されるがん免疫療法 がん治療における免疫療法の未来」というテーマで講演をした。特に肺癌の免疫療法について現状と、現在研究開発中、あるいは臨床試験が行われている治療についてやさしく解説していただいた。

D．考察

各講演者にそれぞれ3問程度の質問があり、多くはご自身、ご家族が罹患した個別の疾患の治療におけるがん免疫療法に対する質問であり、現在進行中の放射線治療や他の薬剤と免疫チェックポイント阻害薬の併用や新しいがん免疫療法の効果に対する質問、あるいは御家族が罹患したがんに対する治療選択に対する質問が主体であった。

E．結論

今回の講演で現在有効と判断されているがん免疫療法、保険で治療が認められている治療について再確認していただき、それぞれの治療の正しい理解に繋がると考えられる。

G．研究発表

該当なし

H．知的財産権の出願・登録状況

該当なし

